

リヤカー専門店リヤカーの森、車が通れない災害現場で活躍 能登地震で再評価された人力物流

リヤカー専門店リヤカーの森では、近年、自治体や地域団体から防災用途としてのリヤカー導入に関する問い合わせが増えています。

その背景の一つとして挙げられるのが、2024年に発生した能登半島地震です。

この災害では、多くの道路が損壊し、自動車による物流が困難な状況が発生しました。倒壊した建物や瓦礫により車が進入できない地域も多く、被災地では物資輸送の課題が浮き彫りとなりました。

そのような状況の中で、人力で運搬できるリヤカーが重要な役割を果たしたことが改めて認識されています。

能登地震でリヤカーが活躍した理由

リヤカー専門店リヤカーの森では、災害時の現場や自治体の防災担当者からの声をもとに、リヤカーが活躍する理由として主に次の3点が挙げられると考えています。

・車が通れない場所でも運搬できる：

地震災害では、道路の陥没や倒壊建物、電柱などによって車両が通行できないケースが多く発生します。

特に住宅密集地や山間部では、自動車による輸送が完全に止まってしまうこともあります。

リヤカーは人が押して移動できるため、狭い路地や瓦礫の間でも物資を運搬できるという特徴があります。

・燃料が不要：

災害時には、ガソリン不足や停電などによってエンジンを使う輸送手段が使えなくなることがあります。

リヤカーは燃料を必要とせず、人力だけで稼働する運搬手段です。

そのため

- ・停電
- ・燃料不足
- ・インフラ断絶

といった状況でも利用できる点が、防災の観点から大きな利点だと考えています。

・人力搬送による避難支援：

リヤカーは物資運搬だけでなく、高齢者や負傷者の搬送にも活用できる可能性があります。

災害時には救急車が到達できない地域が発生することもあり、地域住民や消防団がリヤカーを利用して避難支援を行うケースもあります。

このように、リヤカーは災害時における地域の助け合いを支える道具として機能します。

リヤカー専門店リヤカーの森の取り組み

令和6年能登半島地震に係る義援物資の申出が完了しました。

お申し出内容については、ご提供いただける義援物資の内容を確認し、被災地のニーズをふまえ、ご連絡させていただきます。

※現在、国をはじめとして全国からたくさんの支援をいただいております。物資の受入れに大変お時間をいただいております。そのため、義援物資のお申し出についてすぐにご連絡することが大変難しい状況となっております。必要に応じて、改めてご連絡させていただきます。

※お申し出いただいた後、確認のメールが届かない場合がございますが、本画面が表示されていれば問題なくお申し出は完了しております。

リヤカー専門店リヤカーの森は、折りたたみアルミリヤカーの専門店として10年以上にわたり販売を行っています。

自治体、消防団、大学、企業など幅広い団体に導入されており、防災備蓄用途として利用されるケースも増えています。

また同社では、災害支援活動にも取り組んでおり、2024年の能登半島地震では緊急救援物資の提供を行いました。

防災用途におすすめのリヤカー

リヤカー専門店リヤカーの森では、防災用途として使いやすい折りたたみ式アルミリヤカーを販売しています。

・R250kモデル(積載250kg)
防災備蓄として人気の高いモデルです。

特徴

・最大250kgの積載

- ・大型ノーパンクタイヤ
- ・不整地でも走行可能
- ・3年保証

給水タンクや発電機などの重量物を運搬する用途にも適しており、自治体や消防団での導入も進んでいます。

<https://rear-car.jp/aluminum-rear-car-250kg/>

- ・R150kモデル(軽量モデル)
- 地域防災や町内会向けの軽量タイプです。

特徴

- ・約17kgの軽量設計
- ・女性や高齢者でも扱いやすい
- ・ノーパンクタイヤ
- ・折りたたみ収納可能

平常時の資源回収やイベント運搬などにも活用できるため、防災と日常利用の両方に対応できます。

<https://rear-car.jp/aluminum-rear-car-150kg/>

リヤカー専門店リヤカーの森 今後の展望

リヤカー専門店リヤカーの森では、今回の能登半島地震を通じて、燃料や電力に依存しない人力物流の重要性が改めて認識されたと考えています。

災害時には大型車両だけでは対応できない場面が多く、地域の中で人が運べる運搬手段が必要になります。

今後も、防災や地域活動に役立つ製品の提供を通じて、災害に強い社会づくりに貢献していきたいと考えています。

リヤカー専門店リヤカーの森 公式サイト:

<https://rear-car.jp/>